

非常識とも思える挑戦が、  
未来のあたりまえをつくる。  
DNPはそう考えています。

歩道が動くなんて！

3本の通路が見えますが、右側は動かない普通の歩道、  
真ん中がゆっくりと動く歩道、左側が最も速く動く歩道です。  
人々は、右から順に左へと乗り移れるようになっていました。

画像：東京大学経済学図書館所蔵『L'exposition universelle 1900 / préface de Jacques Duquesne』より

——1900年 パリ万博。20世紀への展望を示すこの大規模な催しに、人々の度肝を抜くあるものが展示されました。動く歩道です。これは「歩道は動かない」という常識を打ち砕く大きな挑戦でした。しかし今日では世界中に普及しています。万博は、未来のための挑戦の場なのです。「未来のあたりまえをつくる。」をスローガンに掲げるDNPも、印刷会社の枠から大きく飛び出し、未来のための挑戦を続け、半導体関連のナノレベル微細加工技術やオンライン・バーチャル空間の最先端技術、さらにはiPS細胞を応用したミニチュア臓器の開発にまで至っています。2025年の大阪・関西万博は、「未来社会の実験場」がコンセプト。DNPはその考え方に強く共感し、万博への参加の意思をここに表明します。

**DNPは2025年の大阪・関西万博「シグネチャーパビリオン」にゴールドパートナーとして参画しています。**



GOLD PARTNER